

-----12月23日-----

※ 今週のアウトルック (12/23~12/27)

先週火曜日に米連邦公開市場委員会（FOMC）で連邦準備理事会（FRB）が、量的緩和の縮小を決定し、大きく円安が進みました。

その後は利益確定に戻される形で、週末までは円高となりました。

今週は、もう一段利益確定からの円高が進むのか、再び円安の流れに戻るのか、見方が分かれるところだと思います。

先週ドル円は、FOMCの決定を受けて、105円間際まで円安が進みました。

今週も基本的には円安ドル高傾向は維持しそうですが、クリスマス休暇の薄商いの中、仕掛け的な動きや、大口の利益確定には注意が必要のように思います。

クリスマス休暇明け後は、実質的には2014年相場となってしまうので、新たな材料待ち、あるいは新たな材料による市場心理の変化などにも、気を配る必要があるように思います。

ドル円の予想レンジは103円から106円です。

ユーロ円は、ドル円好調の流れを受けて、143円付近まで到達しています。

このまま円安ユーロ高の傾向を継続する可能性もありますが、ユーロ円、ユーロドルとも、テクニカル的には一度利益確定が先行する可能性が、幾分強いようにも思います。

140円を大きくわるようなことがあった場合には注意が必要です。

ユーロ円の予想レンジは140円から144円です。

ポンド円はFOMC後の円安の流れを受けて、なんとか上昇トレンドを保っていますが、ポンドドルの状況を加味しますと、今週も正念場のようにも思います。

ポンド円の予想レンジは167円から173円です。

今週後半のクリスマス休暇明けから、実質的な新年度相場に入ります。

2014年度序盤相場を考慮したセンチメントの変化には、十分に注意したいところです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。